

奈良県すべての子ども  
健やかはぐくみプラン

<概要版>

令和2年3月  
奈良県

## 計画策定の趣旨

- 計画策定にあたっては、課題を把握するため、「奈良こどもすくすく・子育ていきいきプラン（平成27年度～平成31年度）」の目標指標の進捗結果や様々なデータを分析。
- 計画の課題を、すべての子どもが人権を尊重され、そして健やかに育つために、「家庭と地域の課題を改善すること」とした。
- これを踏まえ、すべての家庭が安心して子育てでき、家庭と地域がともに子どもをはぐむ奈良県づくりを推進するため、「奈良県すべての子ども健やかはぐみプラン」を策定

## 計画期間

令和2年度～6年度（5年間）

## 計画の根拠法令

- (1)次世代育成支援対策推進法第9条第1項に基づく「都道府県行動計画」
- (2)子ども・子育て支援法第62条第1項に基づく「都道府県子ども・子育て支援事業支援計画」
- (3)子ども・若者育成支援推進法第9条第1項に基づく「都道府県子ども・若者計画」

## 計画の推進体制等

### 【計画の推進体制】

- 本県の福祉、医療、健康、教育、労働、警察等関係部局が連携を図り、効果的に施策を推進
- 住民に身近な市町村が実施主体となって、子ども・子育て支援を円滑に推進できるよう、必要な支援を行う。
- 行政だけでなく、「奈良県こども・子育て応援県民会議」の構成団体をはじめとする地域団体や企業、その他関係機関等がそれぞれの役割を果たし、協働しながら各施策を推進

### 【計画の評価・点検】

- 計画の進捗状況を把握し、評価・点検するため、指標を設定
- 「奈良県こども・子育て支援推進会議」において、施策の実施状況や課題、今後必要な取組等について審議し、以後の施策に反映
- 指標の評価による計画の進捗状況は、毎年度、公表

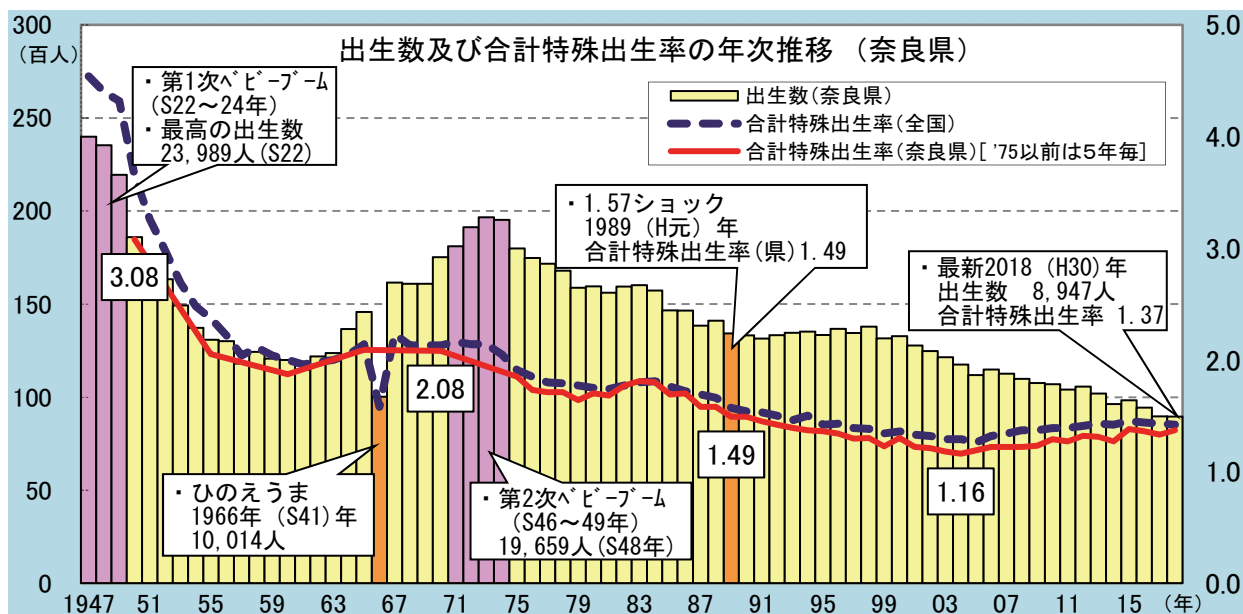
## 少子化の現状等

### ○出生数

- ・奈良県 平成30年 8,947人 [平成25年 10,190人 ▲12%]
- ・全 国 平成30年 918,400人 [平成25年 1,029,817人 ▲11%]

### ○合計特殊出生率

- 平成30年 1.37 (全国38位・全国1.42)
- [平成25年 1.31 (全国43位・全国1.43) ]



### ○未婚率

- ◆25～29歳の未婚率 ・平成27年 男性 74.7% (全国6位 全国72.7%)  
女性 66.6% (全国3位 全国61.3%)
- ◆30～34歳の未婚率 ・平成27年 男性 47.3% (全国17位 全国47.1%)  
女性 37.8% (全国3位 全国34.6%)

- 平均初婚年齢 ・長期的にみると、奈良県・全国、夫、妻ともに同水準で上昇  
・平成30年 男性31歳、女性29.4歳 (全国同水準)

### ○母の平均出産年齢 (出生順位別)

- ・奈良県、全国ともに同水準で上昇
- ・平成30年 第一子出産時年齢 30.7歳 (全国同水準)

### ○夫婦の完結出生児数

- ・平成30年 1.97人 ・全国平均1.94人 [平成27年] と同程度  
(結婚持続期間15～19年の夫婦 (初婚同士) の平均出生児数)

## 基本理念

### すべての家庭が安心して子育てでき 家庭と地域がともに子どもをはぐくむ 奈良県

#### 【重要目標指標】

「安心して子どもを生ま育てられる環境が整っている」ことについて、育児期の県民満足度を高めます。

【R元】3.02 → 【R6目標】3.50 [参考⑳2.84]

※県民満足度は県民アンケート調査により、下記を加重平均で算出

- ・十分満たされている=5点
- ・かなり満たされている=4点
- ・どちらともいえない=3点
- ・あまり満たされていない=2点
- ・ほとんど満たされていない=1点

#### 【目標指標】

①夫婦が考える「理想の子ども数」に対する「予定の子ども数」の割合を高めます。

【H30】86%

→【R5目標】95%[参考㉕92%]

【現状値(86%)算定方法】

「予定の子ども数」2.03人÷「理想の子ども数」2.35人

②夫婦が考える「理想の子ども数」を高めます。

【H30】2.35人

→【R5目標】2.50人

[参考㉑2.48人、㉕2.42人]

※「理想の子ども数」…「奈良県結婚・子育て実態調査」の、初婚どうしの夫婦が回答した「理想の子ども数」の平均

※「予定の子ども数」…同調査の、初婚同士の夫婦が回答した「現在の子ども数」と「今後予定の子ども数」の合計の平均

## 基本的方向性

家庭、地域、若者に係る3つの基本的方向性に基づき施策を推進します。

子育ての不安感・負担感により子どもの健やかな育ちが損なわれることがないように、すべての家庭が安心して子育てができるようサポートを強化します

子育て家庭が孤立することのないよう、地域が子育て家庭を支え、すべての子どもが地域において大切に育まれる環境を作ります

安心して子育てができる家庭・地域に変えていくことで、若者が結婚や子育てに夢や希望を持てる社会を目指します

※地域とは、行政・支援者（NPO／団体）・企業・保育所・認定こども園・幼稚園・学校・社会的養護施設・里親・地域住民等

# 基本方針

基本理念の実現を目指し、基本的方向性に沿って計画を実行するため、ターゲット別に次の4つの基本方針を定め、施策を推進します。

- I 妊娠期から切れ目なく子育て家庭を支える
- II すべての子どもを健やかにはぐくむ
- III 困難な状況に置かれている子どもを守りはぐくむ
- IV 次代を担う若者を応援する

計画の目指す姿 イメージ

**基本理念** すべての家庭が安心して子育てでき  
家庭と地域がともに子どもをはぐくむ奈良県へ

## 目標指標

子育て家庭と地域の課題を改善・変革することで、子育て家庭やひいては次代の親（若者）の

- ・安心して子どもを産み育てられる環境が整っている満足度が高まる
- ・理想の子ども数に予定の子ども数が近づく
- ・理想の子ども数が増える

## 施策推進

## 4つの基本方針

- I 妊娠期から切れ目なく子育て家庭を支える
- II すべての子どもを健やかにはぐくむ
- III 困難な状況に置かれている子どもを守りはぐくむ
- IV 次代を担う若者を応援する

## 3つの基本的方向性

すべての家庭が安心して子育てができるようサポートを強化  
すべての子どもが地域において大切に育まれる環境を作る  
若者が結婚や子育てに夢や希望を持てる社会を目指す

# 推進施策の体系

基本方針		推進施策
【基本方針Ⅰ】	妊娠から子育て家庭を支え目なく	<b>推進施策 1 妊娠期からの切れ目のない子育て支援</b> (1) すべての母子を対象とした市町村の子ども・子育て支援体制の充実 (2) だれでもいつでも相談できる子育て相談支援体制の強化 (3) 周産期や子どもにかかる医療体制等の充実 (4) 不妊に悩む方への支援の充実
		<b>推進施策 2 男女が互いに尊重し合い喜びをわかちあう子育ての推進</b> (1) 企業や地域と連携した父親の子育て参画の促進
		<b>推進施策 3 ひとり親家庭への支援</b> (1) ひとり親家庭への就労・生活支援の充実
		<b>推進施策 4 親の成長も促す 仕事と子育ての両立支援</b> (1) 親の成長も促す「保育」の質と量の充実 (2) 放課後の子どもの居場所づくり (3) 子育て中の親が働きやすい職場づくりの推進 (4) 再就職相談支援の充実
		<b>推進施策 5 地域の子育て環境の整備</b> (1) 地域の多様な主体による子育て応援の取組促進 (2) 安心して子育てできる居住・外環境等の整備
【基本方針Ⅱ】	すべての子どもを健やかにはぐくむ	<b>推進施策 1 乳幼児期からの「心」のはぐくみ</b> (1) 子どもの発達段階に応じた自尊感情、規範意識、学習意欲等の醸成
		<b>推進施策 2 子どもを健やかにはぐくむスポーツ・食育の推進</b> (1) 幼児期のスポーツ（運動・遊び）の推進 (2) 子どもの体力向上方策の推進 (3) 子どものスポーツ活動環境の充実 (4) 発達段階に応じた食育の推進 (5) 学校における食育の推進
		<b>推進施策 3 障害のある子どもへの支援</b> (1) 各種健診体制の整備による早期発見体制の整備 (2) 相談支援及び療育体制の充実・強化 (3) 重症心身障害児（医療的ケア児）への支援 (4) 保育所や放課後児童クラブの障害児の受け入れ体制の充実・強化
		<b>推進施策 4 外国人の子どもへの支援</b> (1) 外国人児童生徒への教育支援の充実 (2) 外国人生活相談への対応充実 (3) 国際交流・異文化理解の推進
		<b>推進施策 5 子どもを健やかにはぐくむ環境整備</b> (1) 子どもが遊び・運動（スポーツ）し、学ぶ場の整備・充実 (2) 学校を核とした地域の教育力の強化 (3) 地域の「育ちの場」づくり (4) 学童期・思春期における保健対策の推進 (5) 健全な青少年育成のための環境整備 (6) 子どもの交通安全の確保 (7) 子どもを犯罪や有害環境から守るための対策の推進
【基本方針Ⅲ】	はぐくむ子どもを置く困難な状況に	<b>推進施策 1 児童虐待発生時の迅速・的確な対応</b> (1) こども家庭相談センター（児童相談所）の体制及び専門性強化 (2) 虐待を繰り返さないための親の回復支援の推進 (3) 市町村の体制及び専門性強化 (4) 市町村や関係機関との連携の推進 (5) 在宅養育への支援の充実 (6) 配偶者等からの暴力（ドメスティック・バ・イレンス）防止及び被害者支援の充実
		<b>推進施策 2 困難を抱える子どもの養育環境の整備</b> (1) 社会的養護体制の充実 (2) 若者（県内高校生・大学生）と子どもとの交流促進
【基本方針Ⅳ】	若者を担う	<b>推進施策 1 若者の経済的自立支援</b> (1) 県内の雇用の場の創出 (2) 若年者への県内就業・再就職支援の充実
		<b>推進施策 2 企業等と連携した若者の結婚応援</b> (1) 結婚・子育て応援の気運醸成 (2) 若者の出会いの機会の提供
		<b>推進施策 3 困難を抱える若者の自立支援</b> (1) ニート・ひきこもり相談支援体制の充実



# 就学前の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の需給計画

- 子ども・子育て支援法第62条第2項に基づき、就学前の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業※の「量の見込み」（需要）とその提供体制の「確保の内容」（供給）等を定めます。
- 「量の見込み」（需要）と「確保の内容」（供給）数値については、同法第61条に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」における数値を、集計したものとなっています。
- なお、教育・保育施設の認可、認定の際に行われる需給調整の判断基準となる「単位区域」を定めることとなっていますが、各市町村の需給計画に応じたきめ細やかな需給調整が可能となるよう、各市町村域を区域とします。

※地域子ども・子育て支援事業

利用者支援事業、放課後児童クラブ、乳児家庭全戸訪問事業、地域子育て支援拠点事業、病児保育事業、ファミリー・サポート・センター事業など

## <「量の見込み」と提供体制の「確保の内容」の概要>

### (1) 教育・保育の量の見込みと提供体制の確保の内容

県全体の総計では、「確保の内容(供給)」が「量の見込み(需要)」を上回っています。しかし、供給が不足する区域（市町村域）もあることから、市町村と連携し、供給不足が解消されるよう取り組んでいきます。

<年度ごとの教育・保育の「量の見込み(需要)」及び「確保の内容(供給)」の県全体の総計表>

(人)

区分		需要・供給	R2	R3	R4	R5	R6
3歳以上児	教育ニーズ	量の見込み(需要)	13,695	13,275	12,849	12,524	12,372
		確保の内容(供給)	19,915	19,702	19,543	19,083	18,816
	保育ニーズ	量の見込み(需要)	15,281	15,028	14,714	14,493	14,376
		確保の内容(供給)	17,189	17,182	16,959	16,933	16,888
1・2歳児	保育ニーズ	量の見込み(需要)	9,064	9,092	9,044	8,942	8,779
		確保の内容(供給)	9,694	9,776	9,704	9,733	9,712
0歳児	保育ニーズ	量の見込み(需要)	2,519	2,492	2,466	2,437	2,386
		確保の内容(供給)	2,783	2,798	2,820	2,829	2,834

### (2) 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保の内容

県全体の総計では、「確保の内容(供給)」が「量の見込み(需要)」を上回っています。しかし、供給の不足する市町村もあることから、各地域の実情に応じた事業実施が可能となるよう、市町村と連携し、供給不足が解消されるよう取り組んでいきます。

## 推進施策の成果指標（抜粋）

4つの基本方針ごとの推進施策の主な成果指標は次のとおりです。

基本方針	指標	現状	目標値 (R6年度)	調査等
I 妊娠期から切れ目なく子育て家庭を支える	子育てに悩んだときなどに気軽に相談できる環境が整っていることの子育て期の県民満足度	3.21 (R元年度)	3.50	県民アンケート調査
	子育てに心理的・精神的な不安・負担を感じている母親の割合	49.8% (H30年度)	40%以下 (R5年度)	結婚・子育て実態調査
	子育てに金銭的・経済的な不安・負担を強く感じている母親の割合	18.1% (H30年度)	15%以下 (R5年度)	結婚・子育て実態調査
	子育て世代包括支援センターの設置市町村	28市町村 (H31年4月)	全市町村 (R2年度)	健康推進課調べ
	乳児健診（4～5か月）の未受診者の現認率	89.0% (R元年9月)	100% (毎年度)	奈良県市町村事業実績報告(母子保健)
	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていることの子育て期の県民満足度	2.85 (R元年度)	3.00	県民アンケート調査
	子どもがケガや急病時にいつでも診てもらえる医療体制が整っていることの子育て期の県民満足度	3.03 (R元年度)	3.50	県民アンケート調査
	仕事と子育ての両立ができることの子育て期の県民満足度	2.85 (R元年度)	3.00	県民アンケート調査
	男性の子育て休業取得率	5.0% (H30年)	13%	雇用均等基本調査等
	保育所が充実していることの子育て期の県民満足度	3.03 (R元年度)	3.50	県民アンケート調査
	保育所等入所待機児童がいる市町村数	9市町村 (H31年4月)	0市町村 (R2年度)	子育て支援課調べ
	放課後児童クラブ利用待機児童がいる市町村数	10市町村 (R元.5.1)	0市町村 (R3年度)	子育て支援課調べ
	第1子出産前後の妻の継続就業率	52.8% (H30年度)	55% (R5年度)	結婚・子育て実態調査
II すべての子どもを健やかにはぐくむ	社会的に自立できる子どもが育っていることの子育て期の県民満足度	3.04 (R元年度)	3.50	県民アンケート調査
	児童発達支援センターの設置市町村または圏域の割合	7.5% (H30年度)	100%	障害福祉課調べ
	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせることの子育て期の県民満足度	3.13 (R元年度)	3.50	県民アンケート調査
	子ども食堂が設置されている小学校区の割合	22.4% (R元年12月)	100%	子ども家庭課調べ
III 困難な状況に置かれている子どもを守りはぐくむ	児童虐待による死亡事例	1件 (H30年度)	0件 (毎年度)	子ども家庭課調べ
	子ども家庭総合支援拠点の設置市町村	6市町村 (H31年4月)	全市町村 (R4年度)	子ども家庭課調べ
	里親登録数	121組 (H30年度)	146組	子ども家庭課調べ
IV 次代を担う若者を応援する	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができることの子育て期の県民満足度	2.74 (R元年度)	3.00	県民アンケート調査
	いずれは結婚しようとする未婚者の割合（18～34歳）	86.1% (H30年度)	90%以上 (R5年度)	結婚・子育て実態調査
	「子育ては楽しい」と思う子どものいない独身者の割合	17.7% (H30年度)	20%以上 (R5年度)	結婚・子育て実態調査

※県民満足度は、十分満たされている=5点、かなり満たされている=4点、どちらともいえない=3点、あまり満たされていない=2点、ほとんど満たされていない=1点として、加重平均で算出（R元年度分は確報値ベース）

## 奈良県すべての子ども健やかにはぐくみプラン（令和2年3月）

発行 奈良県子ども・女性局女性活躍推進課  
奈良市登大路町30番地 TEL 0742-22-1101（代）

